

(仮称)大阪府子ども計画策定のための実態調査
大阪府内における保育士等確保のための実態調査(保育士養成施設向け調査)

問 1 貴施設についてお聞きします。あてはまるものに○をつけてください。

問 1-1 施設種別及び指定種別

(1) 施設種別

1. 大学	2. 短期大学	3. 専門学校
-------	---------	---------

(2) 指定種別

1. 保育士養成施設・幼稚園教員養成機関とも
2. 保育士養成施設のみ

問 1-2 保育士養成施設・幼稚園教員養成機関としての学部・コース等に所属する学生数(枠内に数字を記入してください)

1 年生	人	
2 年生	人	短期大学及び専門学校で長期履修制度等により
3 年生	人	3年に所属する学生がいる場合、「3 年生」の枠に数字を
4 年生	人	記入してください。

※各学年とも、令和 5 年 5 月 1 日現在の学生数を記入してください。

問 2 令和元年度から5年度の卒業者の就職先について、a～q の就職先ごとに当てはまる就職者数について、把握されている範囲で枠内に数字を記入してください。

		R2.4	R3.4	R4.4	R5.4	R6.4	
	卒業者数						人
〔就職先〕							
a)	府内(以下同じ)公立保育所(園)※						人
b)	私立保育所(園)※						人
c)	公立幼稚園※						人
d)	私立幼稚園※						人
e)	公立幼保連携型認定こども園						人
f)	私立幼保連携型認定こども園						人
g)	地域型保育事業実施施設						人
h)	企業主導型保育事業所						人
i)	認可外保育施設						人
j)	放課後児童クラブ						人
k)	児童養護施設						人
l)	その他児童を対象とした施設やNPO						人
m)	他府県の保育関連施設						人

n)	(府内外問わず)一般企業						人
o)	その他						人
p)	就職活動中						人
q)	就職しない・不明						人

※保育所は保育所型認定こども園を含み、幼稚園は幼稚園型認定こども園を含みます(以下同じ)。

問 3 貴施設における学生の保育実習・教育実習の状況についてお聞きます。

問 3-1 学生が実習に行くことで、保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園への就職を希望する学生が増えると思いますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園への就職を希望する学生が増える
2. 逆に保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園への就職を希望する学生が減る
3. 学生の就職希望に特に影響しない
4. わからない

問 3-2 貴施設として、実習に行く学生に対し、どのような支援をしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. 実習先の紹介 | 5. 実習を受けるためのポイントを説明した授業の実施 |
| 2. 担当講師が実習先に赴き、現地で学生を指導 | 6. 実習の成果を振り返る授業の実施 |
| 3. 学生が担当講師に相談できる場所・時間を確保 | 7. その他 (具体的に:) |
| 4. 担当講師以外の相談窓口の開設 | 8. 特にない |

問 3-3 問 3-1 で1. または 2.&回答された施設におうかがいします。実習に行った学生の感想としてどのようなものが多いですか。特に多いものを 3 つまで○をつけてください。

1. 実際に子どもと接することで、授業とは違った保育の楽しさを体験できてよかった
2. 保育士、幼稚園教諭や保育教諭として働くことに少し不安があったが、自信をもつことができるようになった
3. 実習後、学校の授業で具体的なイメージをもつことができるようになってよかった
4. 子どもに接することが想像以上に大変で、自分が保育士、幼稚園教諭や保育教諭としてやっていけるのか不安になった
5. 実習先の職員との人間関係がうまくいかず、十分な実習の成果を得ることができなかった
6. 記録をつけることなどが多く、大変忙しかったので、精神的にも体力的にも疲れてしまった
7. その他 (具体的に:)
8. わからない

問 4 学生に対して行っている就職支援について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園などの求人情報の提供及びあっせん
2. 求人情報を提供し、就職をあっせんしている機関や会社の紹介
3. 保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園の保育内容や教育方針などについての情報の提供
4. 社会人として必要な教養やマナーに関する講習会
5. 就職のための面接対策
6. 卒業生との面談の場の設定

- | | |
|---------------|---|
| 7. 就職後の相談対応 | |
| 8. その他 (具体的に: |) |
| 9. 特にな | |

問5 学生は就職予定先をどのようにして見つけていますか。特にあてはまるものを 3つまで○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 学校の紹介 | 7. 福祉人材センターの利用 |
| 2. 知人の紹介 | 8. 求人雑誌、求人サイト等の利用 |
| 3. 学生が自分で施設を見つける | 9. 人材派遣会社・人材紹介会社への登録 |
| 4. 就職説明会への参加 | 10. 保育士・保育所支援センターへの登録 |
| 5. ハローワークの利用 | 11. その他 (具体的に: |
| 6. 実習等への参加 |) |

問6 保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園との連携についてお聞きします。

問6-1 就職あっせんや保育実習・教育実習などに関し、保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園と連携していること、連携したいことについて、a～e それぞれについて、あてはまるものを 1つに○をつけてください。

	1.すでに 連携している	2.今後連携したい	3.連携したいとは思わない	4.わからない
a) 実習先の確保	1	2	3	4
b) 実習生に対する支援の連携	1	2	3	4
c) 就職説明会の開催	1	2	3	4
d) 就職先として個別に紹介	1	2	3	4
e) 定期的な連絡会の設置	1	2	3	4

問6-2 学生が保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園に就職して働き続けるために、施設が実施したほうがよいと考えることについて、特にあてはまるものを 3つまで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 給与水準の引き上げ | 8. 福利厚生充実 |
| 2. 給与体系の見直し | 9. 書類作成、事務作業の見直しによる効率化 |
| 3. 労働時間の短縮 | 10. 業務上での悩みなどに対する相談窓口の設置 |
| 4. 休暇が取りやすいように勤務体制を改善 | 11. 社会的な評価の向上(第三者評価の導入など) |
| 5. 園内研修の内容充実 | 12. 採用前の職場体験の実施 |
| 6. 外部研修が受講しやすいように勤務体制を改善 | 13. その他 (具体的に: |
| 7. キャリアアップのための講座受講・資格取得等を支援 | 14. 特にな |

問6-3 学生が保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園に関心を持ち、就職して働き続けるために、行政等が実施したほうがよいと考えることについて、あてはまるものを 3つまで○をつけてください。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 高校生のアプローチ(保育体験学習など) | 6. 職員の給与の向上を図るための支援 |
| 2. 教育・福祉の就職説明会の開催 | 7. 返還免除のある修学資金貸付 |
| 3. ハローワークと連携した就職先の情報提供 | 8. 現職職員の体験談 |
| 4. 保育技術向上の研修 | 9. その他 (具体的に: |

問 7 最後に、より多くの学生が保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園に就職してもらうための具体的なご提言について自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返送用封筒で、月 日()までにご投函ください。(切手は不要です。)